



金ケ崎町立金ケ崎中学校  
平成30年度校報  
第38号  
平成31年1月22日発行  
文責：遠藤

# 3学期始業式

1月15日(火)に平成30年度第3学期始業式を行いました。今年度の冬休みは年末年始に積雪がありましたが、比較的温暖な気候でした。それぞれの計画に従って充実した時間を過ごすことができたものと思います。校長からは次のような話をし、3学期のスタートを激励しました。

(前段略) 2学期終業式に、「1・2年生は後輩をむかえ入れるために、そして自らが先輩となるための準備を整えてください。3年生は新たな道を切り拓き、大きくステップアップするための準備を万端に整えてください。」と話しました。この準備を整える中で、「2019年、自分自身の理想とする姿」を思い描くことができたでしょうか？その理想に近づくために、これから始まる3学期においても、着実に歩みを進めてほしいものです。(中略) 3学期の始まりに当たって、次の2つのことを話します。

まず1つ目は、3学期は学習の総まとめとなることから「授業で勝負」の実践として、次の言葉を紹介します。『「わからない」は、思索のスタートである。「わからないからやめだ」であきらめれば、挫折のゴールである。』この言葉は、作家橋本治さんが書かれたもので『「わからない」をスタート地点とすれば、「分かった」はゴールである。両者を結び「道筋」が見えてくる。「分かる」とはその道筋を地図に書くことである。分かることゴールばかりを求める人は、地図を見ないから、自分が通った道筋が全く分からない。だから、「何も分からない」ままにいる。道筋とは結果に至る過程だ。』ということを表しているものです。授業において、学習課題に対する結果だけを追い求めるのではなく、まとめに到達する過程・道筋をしっかりと確認し、理解

することが大切であることを示しているものと思います。1時間1時間の授業を大切に、如何に集中して取り組んでいけるかが思索のスタートに繋がることと思います。2つ目は『見て 見つめて 見極める』です。これは、「日本のプチファール」細密画家の熊田さんの言葉です。対象物をただ「見る」だけではなく、同じ目線で「見つめ」、さらには細部まで「見極める」熊田さんの生き方は、現代人の生き方の対極のようで反省させられます。「見る」だけではなく、時にその周囲を詳しく調査し、診断・判断することの重要性を説いているものと思います。時間をかけて考えることをせず、与えられた問題をじっくりと考えもせず、すぐに回答を求めたがり、正解は一つだと思い込み、他の回答方法を考えないでしまう。「SOON GOT、SOON GONE (得やすければ、失いやすし)」という諺があります。1日1日を大切に、自らの言動を見極めて、3学期を過ごしましょう。3学期、これからが厳しい寒さの本番です。健康管理に細心の注意を払いながら、自らを鍛えて甘えを断ち切り、自らの視界を広げ、力を蓄えてください。さらに大きく羽ばたくために！

始業式後は各学級に戻り、冬休み後及び3学期開始にあたっての確認をしました。その後、2校時からは冬休み明け実力テストが行われ、2学期から冬休みの学習成果をしっかりと発揮することができたものとおもいます。

## 2月行事予定

日	曜	予定	日	曜	予定
1	金	職員会議	17	日	テスト前部活動なし～19火
4	月	応援練習 ～5火	18	月	町校長会議
6	水	全校朝会	19	火	学校運営協議会
7	木	児童民生委員情報交換会	20	水	期末テスト～21木
8	金	地区中体連合同会議	22	金	登校交通安全指導
12	火	2年まち歩き事前学習	24	日	2年まち歩き
14	木	一日授業公開日	25	月	生徒会定例専門委員会
		H31 新入生保護者説明会	27	水	感謝と激励の会
		2年修学旅行保護者説明会	28	木	修卒認定会議

# 生徒会リーダー研修会

冬休みの12月26日(水)～27日(木)に、本校を会場に「平成30年度金ケ崎中学校リーダー研修会」を実施しました。対象は新生徒会の役員及び1,2年学年生徒会の役員と新応援団リーダーでした。



2日間に渡る研修では講話として、リーダーに期待すること・その心構えを校長と生徒指導主事小田中先生より話して頂きました。

また、演習では、生徒会の現状と今後に向けての分析及び方向性について自由に意見を出し合い共有する機会を持ちました。そして、研修では今後の取り組み計画や次年度の計画への見通しを持ち、実際の取り組みを検討する機会としていました。



この研修を3学期そして次年度の生徒会活動に是非とも活かしてほしいものです。大変お疲れ様でした。

# アンサンブルコンテスト 奥州支部大会

12月23日(日)に奥州市文化会館Zホールにて、「平成30年度全日本アンサンブルコンテスト岩手県大会予選奥州支部大会」が開催されました。この大会は1,2年生の新人チームの少人数でアンサンブルを奏でる大会です。吹奏楽部にとっては新人大会に位置づけられるものです。本校からも次の3チームが出場し、心一つに合わせて演奏し、Zホールにその想いを響き渡らせていました。(敬称略)

- **管打五重奏 「なぞのたからぼこ」 銀賞**  
五味 佐々木 松芳  
宮田 鈴木

- **管打八重奏 「コタンの雪」 銀賞**  
佐々木 芦野 阿部 荒川  
及川 佐藤 村上
- **木管五重奏 「3つの花」 銅賞**  
熊谷 朝倉 及川  
黒澤 鈴木

残念ながら県大会への出場権は得ることができませんでした。しかし、この発表経験を活かして次の地区コンクールには金賞を目指し、県大会への出場権を獲得してほしいものです。

# 児童生徒顕彰表彰式

1月8日(火)に町中央生涯教育センターにて「平成31年児童・生徒顕彰表彰式」が行われました。この顕彰は平成30年1月から12月までのそれぞれの業績に対して、県大会等で上位入賞を果たした諸君及び団体に贈られるものです。今年は次の諸君・部活動への表彰が行われました。大変おめでとうございます！(敬称略)

- **小野寺 (2年)**  
太陽生命カップ2018第9回全国中学生ラグビーフットボール大会 第1ブロック中学校 第3位
- **佐藤 (2年)**  
第44回日本パントワリング選手権東北支部大会スリーバトン女子U-15部門 第2位
- **佐々木 (3年)**  
第65回県中学校総合体育大会柔道競技男子個人50kg級 第2位
- **土井 (2年)**  
第65回県中学校総合体育大会陸上競技共通男子砲丸投 第1位
- **菊池 (2年)**  
第65回県中学校新人大会陸上競技共通男子800m 第1位
- **栗津 (2年)**  
第65回県中学校新人大会陸上競技共通女子砲丸投 第3位
- **稲邑 (2年)**  
第11回県ボルダリング選手権大会ミドル高校生以下男子の部 第1位
- **佐藤 (3年)**  
第38回全国中学生人権作文コンテスト岩手県大会 最優秀賞 盛岡地方事務局賞
- **及川 (3年)**  
第38回全国中学生人権作文コンテスト岩手県大会 審査員特別賞 岩手県中学校長会長賞
- **男子バレーボール部**  
第65回県中学校総合体育大会バレーボール競技(男子の部) 第1位
- **男子バレーボール部**  
第65回県中学校新人大会バレーボール競技(男子の部) 第1位
- **女子バレーボール部**  
第65回県中学校新人大会バレーボール競技(女子の部) 第3位